

所 属 鳥取県漁業協同組合（中山支所）
氏 名 ふくしま よしと
福 島 祥人（44 歳）
船 名 ふくしょうまる
福 祥 丸 3.7 トン
漁業種類 潜水（アワビ、サザエ、イワガキ、ワカメ）、釣り



～海と向き合って～

「昔から海の近くで暮らしたかった。」と話す福島さんは、京都府からの1ターンで中山に移り住んだ。漁法の中心をアワビやサザエなどの素潜り漁に置き、サワラのひき縄釣りにも取り組んでいる。

「休みたい時には自分の都合で休みを取れるため予定が立てやすい。何よりも1人で行う漁師の仕事は気楽であり、自分の性に合っている。」と漁業の魅力について話をしてくれた。加えて、「体が資本となる漁師の仕事は、日々の体調管理を行うことが何よりも大切。特に素潜り漁は体力の消耗が激しいため、休みの日の大部分を休養に充てることもある。」と漁業との向き合い方についても話をしてくださった。

海の近くで妻と2人の子供と一緒に暮らす福島さんは、一家を支える大黒柱としてこれからも海とも上手に向き合っていくことだろう。

～13年振りのサーフィン～

「鳥取の海にはサーフィンにとって良い波がある。」と言う。サーフィンを始めたのは18歳の頃。長らく波には乗っていなかったが、一念発起して今年から再始動したそうだ。13年ぶりの波は、きっと優しい追い波として福島さんを迎えてくれたのだろう。

（文責：門脇 慧史）